

2027年3月期 第1四半期 決算短信補足資料



**SERENDIP
HOLDINGS**

セレンディップ・ホールディングス株式会社

証券コード 7318

2026年8月7日

【2027年3月期 第1四半期】 連結業績サマリ

- 昨年度M&Aを実行したサーテックカリヤの通期寄与開始により売上高は前期比約1.7倍を達成
- ソリューション事業の一時的な変動をモノづくり事業が補完し、事業ポートフォリオ効果を発揮
- 調整後EBITDAはサーテックカリヤの通期寄与により順調に伸長

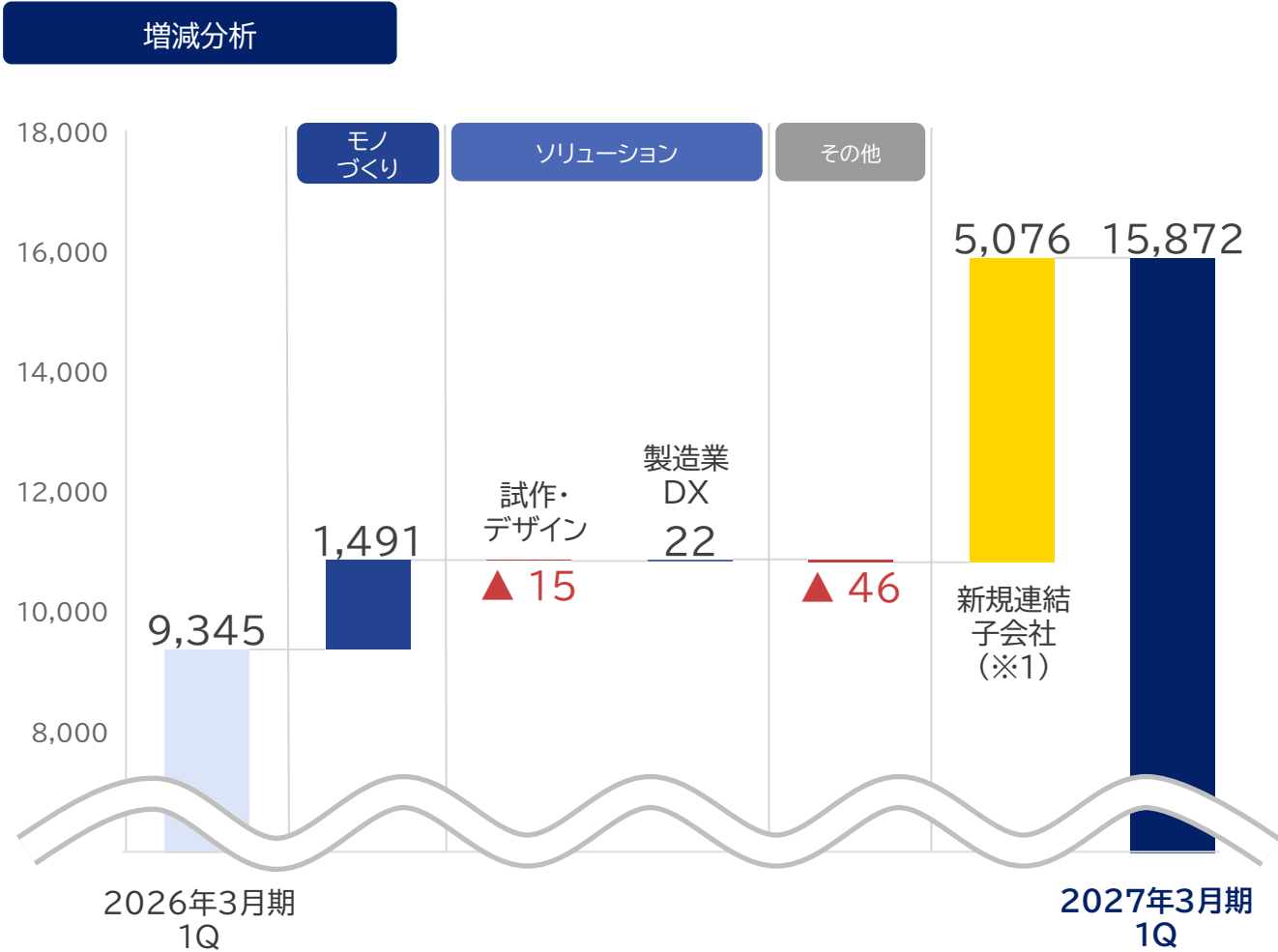
売上高  過去最高 15,872百万円 前年同期比 +69.8pt 前年同期 9,345百万円	営業利益  過去最高 530百万円 前年同期比 +0.3pt 前年同期 529百万円	経常利益  過去最高 625百万円 前年同期比 +12.2pt 前年同期 557百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益 321百万円 前年同期比 ▲10.1pt 前年同期 357百万円	調整後EBITDA※  過去最高 1,151百万円 前年同期比 +24.5pt 前年同期 925百万円	M&A実行件数(累計) 1件 前年実績 1件

※調整後EBITDA:営業利益+のれん償却費+減価償却費+一過性の新規M&A関連費用

セグメント売上高の状況および連結売上高増減分析

- ・ サーテックカリヤの通期寄与開始に加え三井屋・エクセルの売上拡大により、モノづくり事業が大きく伸長
- ・ ロボクロスは、案件拡大により前年同期比2.5倍と大幅伸長

(単位:百万円)	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	前年同期比
モノづくり事業	8,061	14,620	+81.4%
ユニクレア	2,683	2,795	+4.2%
三井屋工業	2,552	3,005	+17.8%
エクセル・グループ	2,825	3,772	+33.5%
サーテックカリヤ	—	5,075	—
ソリューション事業	1,258	1,250	-0.6%
試作・デザイン	595	587	-1.3%
アバックス(アバックス×トライシス)	488	473	-3.1%
レディーバード	107	113	+5.6%
製造業DX	662	677	+2.3%
天竜精機	254	219	-13.8%
アクストリア	362	342	-5.5%
セレンディップ・ロボクロス	45	115	+155.6%
その他	247	267	+8.1%
セレンディップ・ホールディングス	189	256	+35.4%
セレンディップ・フィナンシャルサービス	57	10	-82.5%

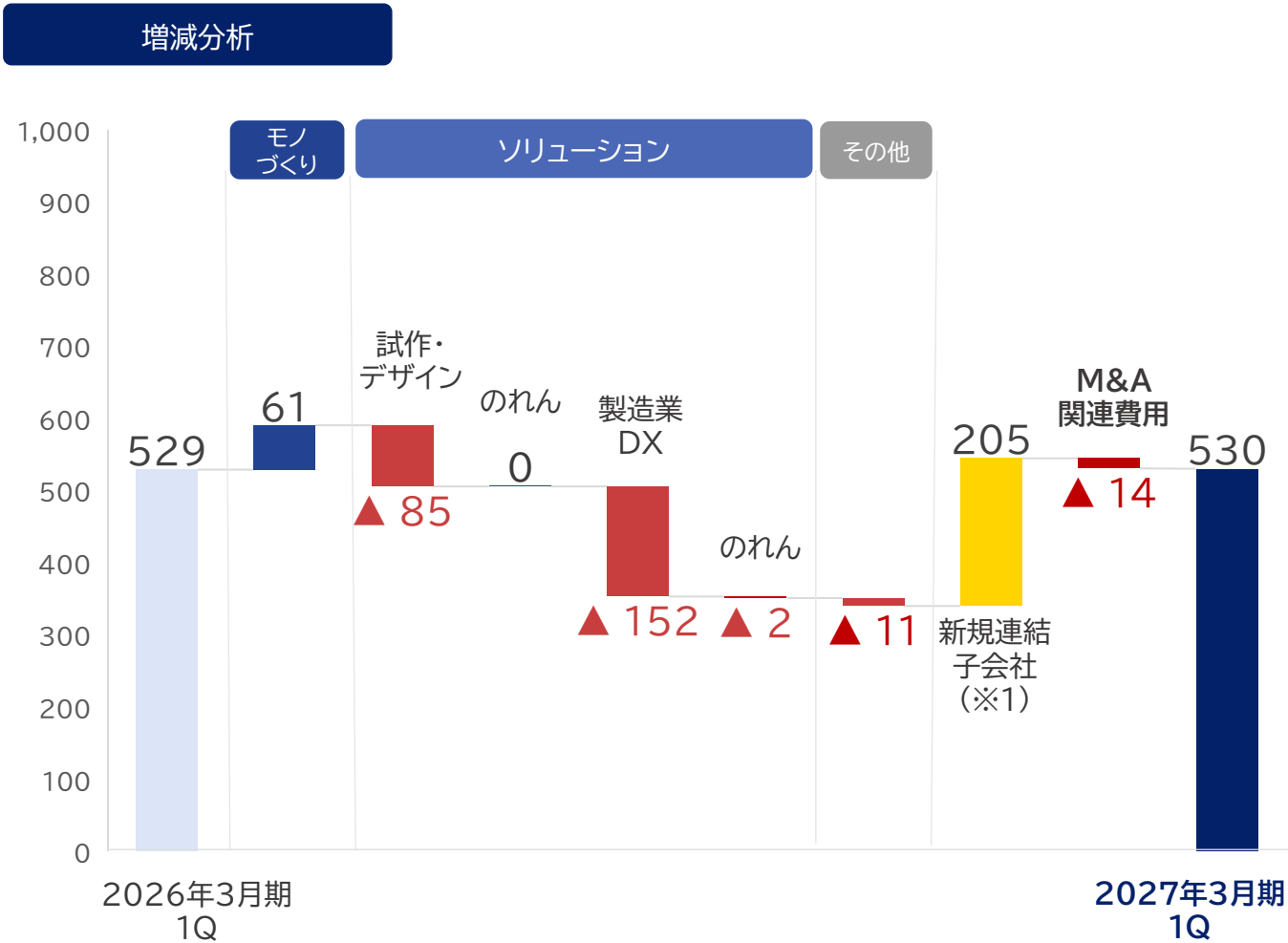


※個別業績については内部売上高又は振替高を含んでいるため、各個別業績の合計とセグメント別の数値は一致いたしません。
※2027年3月期 第1四半期よりセグメント区分を変更しております。前年同期実績については新セグメント区分に組み替えて表示しております。
※トライシスは2025年10月にアバックスと合併しておりますが、前年同期実績についても両社を統合した数値で表示しております。
※当社コンサルティング事業は2025年8月よりセレンディップ・ロボクロス、2026年4月よりアクストリアへ移管しており、2026年3月期第1四半期および2027年3月期 第1四半期実績は移管後の体制に合わせて表示しております。

セグメント利益の状況および連結営業利益増減分析

- ユニクレアは、原価改善・内製化の進展により増益に寄与
- ソリューション事業の一時的な変動を、モノづくり事業の安定収益が下支え

(単位:百万円)	2026年3月期 1Q	2027年3月期 1Q	前年同期比
モノづくり事業	478	750	+56.9%
ユニクレア	31	108	+248.4%
三井屋工業	138	225	+63.0%
エクセル・グループ	307	216	-29.6%
サーテックカリヤ	—	204	—
ソリューション事業	16	-220	—
試作・デザイン	61	-23	—
アベックス(アベックス×トライシス)	64	-8	—
レディーバード	-2	-14	—
製造業DX	-34	-192	—
天竜精機	-17	-79	—
アクストリア	8	-101	—
セレンディップ・ロボクロス	-25	-12	—
その他	34	13	-61.8%
セレンディップ・ホールディングス	20	20	+0.0%
セレンディップ・フィナンシャルサービス	14	1	-92.9%

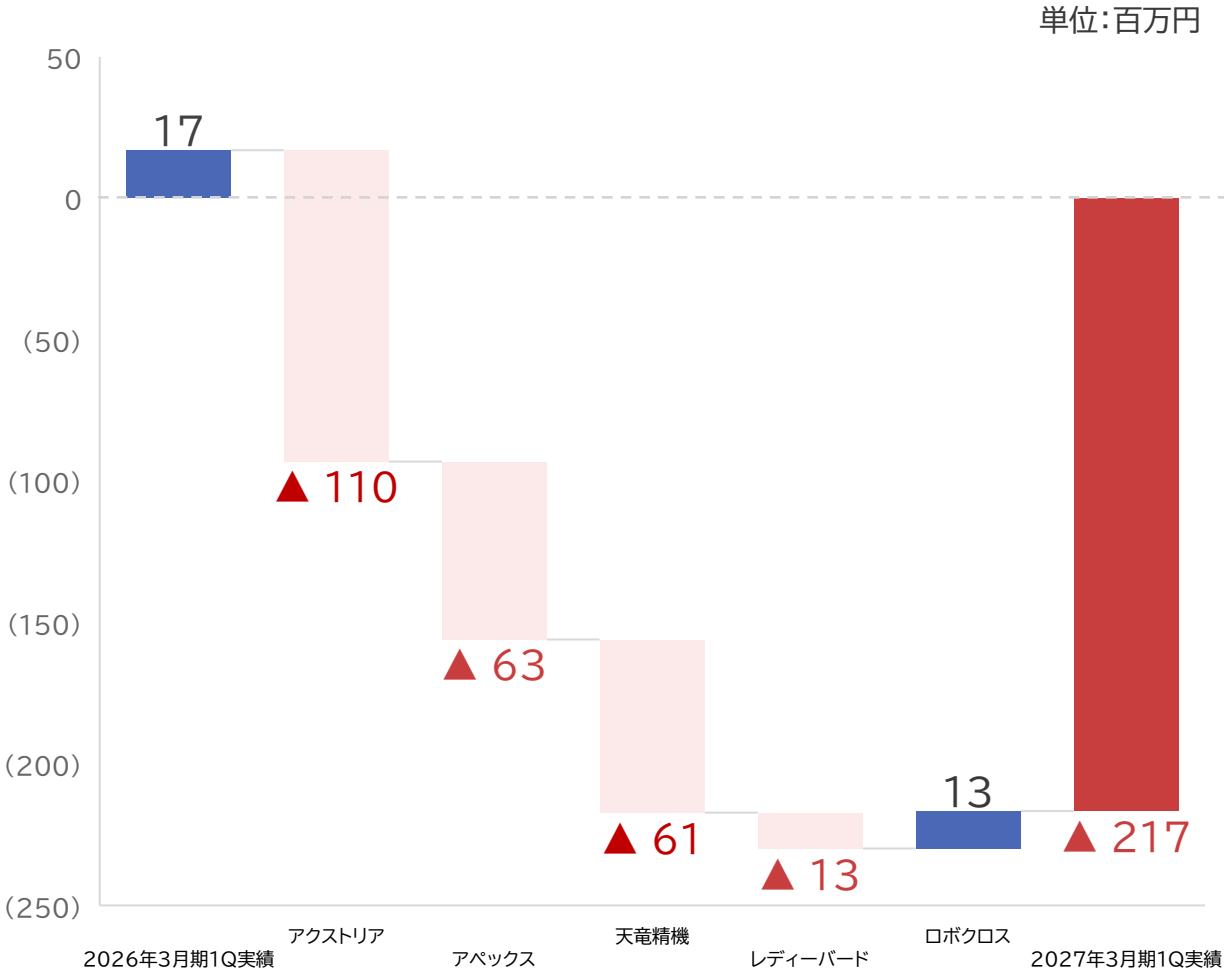


※個別業績については内部売上高又は振替高を含んでいるため、各個別業績の合計とセグメント別の数値は一致いたしません。
※2027年3月期 第1四半期よりセグメント区分を変更しております。前年同期実績については新セグメント区分に組み替えて表示しております。
※トライシスは2025年10月にアベックスと合併しておりますが、2026年3月期 第1四半期の業績もそれぞれ統合した数字で表示しております。
※当社コンサルティング事業は2025年8月よりセレンディップ・ロボクロス、2026年4月よりアクストリアへ移管しており、2026年3月期 第1四半期および2027年3月期 第1四半期実績は移管後の体制に合わせて表示しております。

ソリューション事業:1Q業績の背景

- 一過性のコスト等により減益となったが、受注残高および案件パイプラインは堅調に推移しており、挽回可能

営業利益の前年同期比差異



アクストリア	・人員数および稼働率は計画通りに推移 ・大型案件の売上計上後ろ倒し(▲67百万円) ・外注費活用増加により収益性が低下
アベックス	・顧客開発案件の計上時期後ろ倒し ・需要ニーズは堅調で下期回復を見込む
天竜精機	・新規案件で追加設計対応等が発生(▲52百万円) ・新規顧客・新規分野の引き合いは拡大 ・上期受注は計画超過見込み
レディーバード	・新規顧客獲得のための手数料増加により減益 ・2Qに大口案件の出荷を予定
ロボクロス	・案件パイプラインは堅調に推移 ・一部案件でプロジェクト遅延に伴う追加コスト発生(▲14百万円)

※2027年3月期1Q実績は、内部売上高又は振替高を含む個別業績の数値を用いているため、前ページに記載したソリューション事業の数値と一致いたしません。

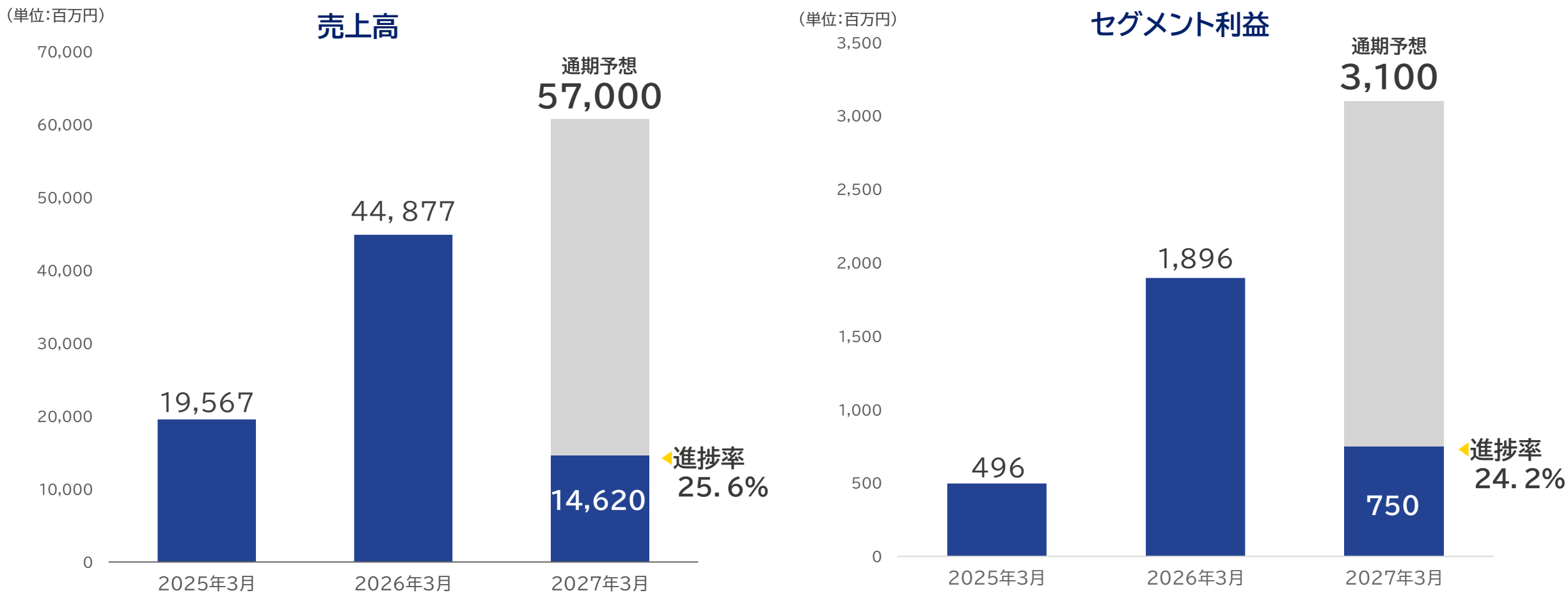
【2027年3月期】 新セグメント区分に基づく売上高予想および利益予想

(単位:百万円)	セグメント売上高				セグメント利益			
	2027年3月期 予想	2026年3月期 実績	増減額	増減率 (%)	2027年3月期 予想	2026年3月期 実績	増減額	増減率 (%)
モノづくり事業	57,000	44,877	+12,123	+27.0%	3,100	1,896	+1,204	+63.5%
ソリューション事業	7,000	6,299	+701	+11.3%	400	280	+120	+42.3%

(注)1. セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。
2. 2027年3月期 第1四半期より、セグメント区分を変更しております。
3. 2027年3月期予想は、2026年5月14日開示の2027年3月期通期連結業績予想から変更ありません。

【モノづくり事業】 業績推移と進捗状況

- 三井屋およびエクセルが計画を上回り、モノづくり事業全体の売上高は計画通りに進捗
- エクセルにて海外拠点撤退による一過性コストが発生したものの、ユニクレアの増益寄与により、利益は堅調に推移



※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

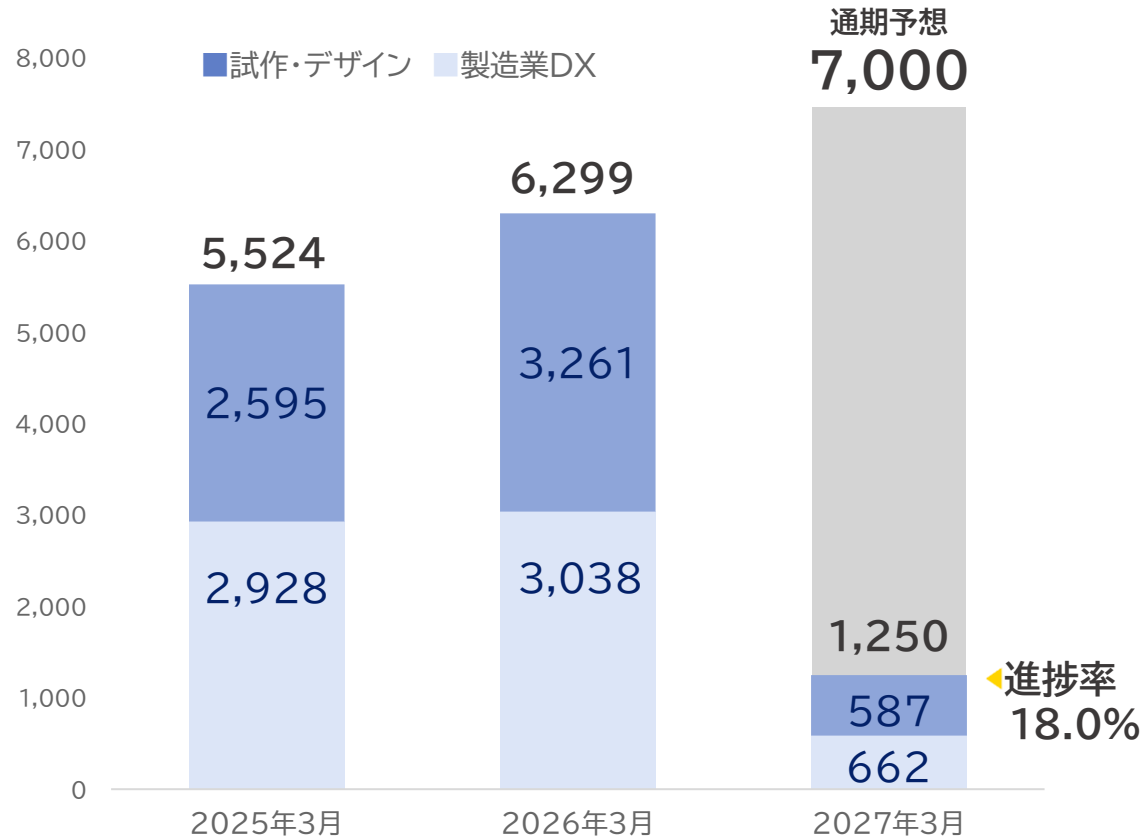
※2027年3月期第1四半期よりセグメント区分を変更しております。2025年3月期および2026年3月期の実績については、新セグメント区分に組み替えて表示しております。

【ソリューション事業】業績推移と進捗状況

- ロボクロスは、旺盛な需要を背景に堅調に推移する一方で、アクストリアは一部案件の売上計上時期が後ずれ
- セグメント利益において、1Qは一過性コストの影響を大きく受けたものの、通期としての受注は堅調

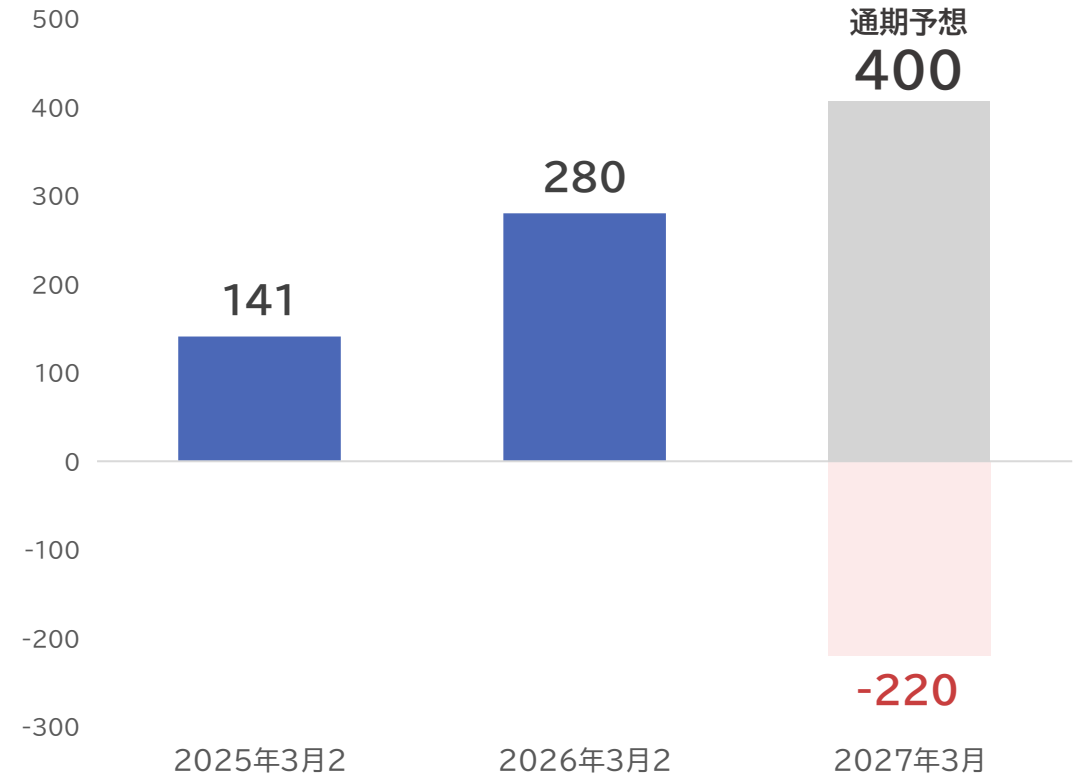
(単位:百万円)

売上高



(単位:百万円)

セグメント利益



※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

※2027年3月期第1四半期よりセグメント区分を変更しております。2025年3月期および2026年3月期の実績については、新セグメント区分に組み替えて表示しております。

連結貸借対照表サマリ

- 保有する有価証券の時価評価等により自己資本比率が減少

(単位:百万円)	2026年3月期末	2027年3月期1Q	増減額
総資産	57,655	58,987	+1,331
流動資産	28,824	30,499	+1,675
固定資産	28,831	28,487	-343
負債	40,592	39,997	-594
流動負債	24,761	24,387	-374
固定負債	15,830	15,610	-219
純資産	17,063	18,989	+1,926
(内、自己資本)	(13,486)	(13,365)	(-121)
自己資本比率	23.4%	22.6%	-0.8pt

2027年3月期 第1四半期 | オンライン決算説明会開催のお知らせ

日 時:2026年8月18日(火) 18:00～19:00(質疑応答あり)

形 式:オンライン(Zoomウェビナー)

応募方法:以下のURLもしくは二次元バーコードよりご予約ください

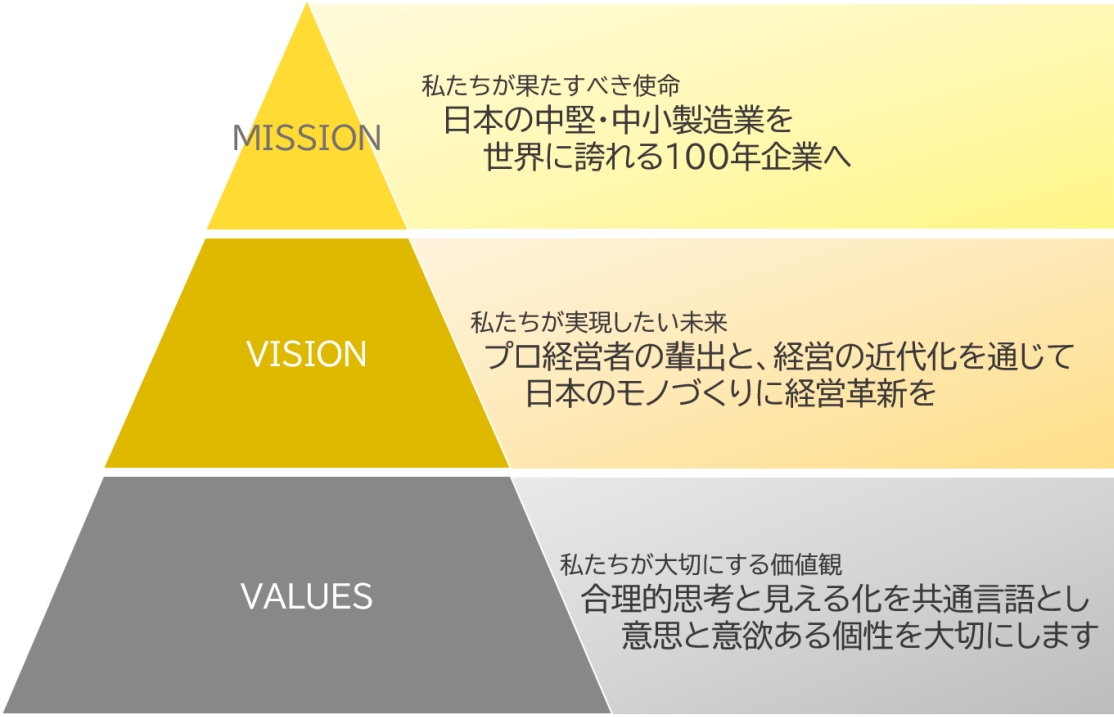
U R L:https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_w0whr-J9T7umW3O_uHgFMA



会社概要

社名	セレンディップ・ホールディングス株式会社 SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd.
代表者	代表取締役社長兼CEO 竹内 在
本社所在地	愛知県名古屋市中区錦一丁目5番11号 名古屋伊藤忠ビル
設立	2006年8月
資本金	11億6461万円(2026年3月末現在)
株式公開市場	東京証券取引所 グロース市場 証券コード:7318
従業員数 (正社員・契約社員・パート)	単体 38名(2026年6月末現在) グループ全体 3,705名(2026年6月末現在)
決算月	3月

当社のミッション・ビジョン・バリュー



※従業員数(単体)の減少は、コンサルティング部門の人員をセレンディップ・ロボクロスおよびアクストリアへ移管したことによるものです。



Appendix

中期経営計画に基づき投資配分を見直し | 高成長・高収益領域への投資比率を拡大

安定した基盤であるモノづくり事業において新たなセクターや海外へ拡大しつつ、
利益率の高いDX、ロボット/AIなどの成長分野にも積極的に投資

セレンディップ投資ポートフォリオ(SIP)

ソリューション事業

投資比率
35%

高成長・高収益領域

グループ全体の生産性向上
を牽引・高付加価値事業



試作・デザイン

製品開発の上流工程へ参画し付加価値を創出



次世代モノづくりソリューション

ソフトウェア・AI・IT人材・コンサルティングによる生産性向上支援



スマート工場(フィジカルAI)

自動化設備、ロボット、画像認識、AIを活用した
次世代製造ソリューション

モノづくり事業

投資比率
65%

安定収益・基盤領域

国際競争力が高く、
サプライチェーンが強固な分野



自動車部品メーカー横断

安定収益を生み出す自動車部品サプライヤー



建設機械

強固なサプライチェーンへ参入し、新たな成長基盤を構築



新たな柱の確立

航空宇宙/医療機器 等の成長領域開拓

新たな領域へ
進出

グループ会社一覧

安定した基盤であるモノづくり事業が、持続的な成長と新たな価値創造を支える



SERENDIP HOLDINGS

高成長・高収益領域

ソリューション事業

試作・デザイン



■デザイン
開発段階の
試作・デザイン



■ビューティーテック
美容器開発・
製造・販売

製造業DX



ファクトリーオート
メーション装置製造



労働者派遣・DX
コンサルティング・
受託開発



協働ロボット導入支援
・生産性向上支援

安定収益・基盤領域

モノづくり事業

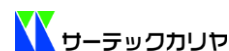
自動車部品メーカー



■金属プレス加工
精密部品製造



■樹脂成型
内外装部品製造、ダクト等の
樹脂成型品の開発・製造



■めっき加工
表面処理

建設機械



建設機械部品・
ライニング鋼管の製造・販売

【2027年3月期】 通期業績予想

- 前期にグループインしたサーテックカリヤが通期業績に寄与することで、「モノづくり事業」を中心に非連続的な増収・増益を見込む
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、前期にM&Aに伴う負ののれん発生益(3,069百万円)を特別利益として計上したため減益となるが、22億円を確保

(単位:百万円)	2027年3月期 予想	2026年3月期 実績	増減額	増減率 (%)
売上高	64,000	51,163	12,837	+25.1%
調整後EBITDA	6,000	4,572	1,428	+31.2%
営業利益	3,500	2,189	1,311	+59.8%
(営業利益率)	(5.4%)	(4.3%)	-	-
経常利益	3,300	2,418	882	+36.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,200	4,147	-1,947	-47.0%

Contact Us



<https://www.serendip-c.com/>



愛知県名古屋市中区錦 1-5-11
名古屋伊藤忠ビル



information@serendip-c.com

本資料に関する免責事項

本資料には、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものであり、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述又は前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、又は将来実現しないという可能性があります。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。